

令和5年度

# 事業報告書

社会福祉法人そてつ会

(法人本部)

(障害者支援施設 竹山苑)

(相談支援事業所 ともいき)

(放課後等デイサービス カラット)

(特別養護老人ホーム 涼松)

(通所介護支援事業所岡村さん家)

(岡村さん家居宅介護支援事業所)

## 目 次

法人本部	…	1
障害者支援施設 竹山苑	…	7
相談支援事業所 ともいき	…	14
放課後等デイサービス カラット	…	20
特別養護老人ホーム 涼松	…	24
通所介護支援事業所岡村さん家	…	30
岡村さん家居宅介護支援事業所	…	33

社会福祉法人そてつ会 令和5年度 事業報告書

I 法人法部		
1 重点項目における評価と課題		
事業計画	評価	課題・今後の取組
(方針1) 健全な財政基盤をつくります		
適正な収益を確保し、各事業所自立した財務基盤づくりを支援します		
<p>(1) 法人経営および事業経営が良好に進展するための執行機関として、代表者会議を適宜開催します。</p> <p>(2) 各事業所の経営状況と財務状況を把握し、必要な支援を行います。</p>	<p>(1) 職員理事による代表者会議を年間9回開催し、法人運営や経営状況について協議することができた。</p> <p>(2) 涼松経営会議を毎月開催。本部、竹山苑職員も参加して経営改善について協議し、経営改善や業務改善に資することができた。さらなる業務改善を図るため、福祉医療機構の経営分析プログラムの委託について検討した。</p>	<p>(1) 代表者会議の定期開催と事業所管理者を含めた会議開催により、さらなる経営改善を検討する必要がある。</p> <p>(2) 支出の多い人件費や水道光熱費は限界に近い状態まで削減している。収入は徐々に改善されつつあるが、さらに改善していくための方策が課題である。また、経営分析を委託した後、結果をどう生かせるか検討する必要がある。</p>
(方針2) 個人の尊厳を守ります		
多様性や価値観を認め合う職場を目指します		
<p>(1) 全ての職員が法人の規程や規則を理解できているかを確認し、必要な支援を行います。</p> <p>(2) 次世代法並びに女性活躍推進法に基づいて策定した「そてつ会行動計画」の目標を取組み時期に従って各事業所に伝え、働きやすい職場環境づくりを推進します。</p> <p>(3) 法人職員の行動規範になる「職員倫理規程」について、職員への周知を図るとともに改定について検討します。</p>	<p>(1) 各種規程を整理して周知を図ったが、理解促進等については十分な支援ができなかった。</p> <p>(2) 育児休業や育児短時間勤務についてはほぼ目標どおり。所定外労働時間については改善されてきているが完全な達成ができなかった。</p> <p>(3) 周知のみで改定の検討未実施。</p>	<p>(1) 各種規程の周知とともに規程の見直しも必要である。</p> <p>(2) 所定外労働については、通常の業務分担だけでなく、非常時等の業務分担についても検討する必要がある。</p> <p>(3) 職員倫理規程の内容に問題はないが、服務規律や個人情報保護に関する誓約書等類似の定めがあり、合わせて検討する必要がある。</p>

(方針3) 地域社会とのつながりを大事にします		
地域課題を共有し、解決へ向けて共に考え行動します		
<p>(1) 地域と協働して行う「そよ風事業」について、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけの変更に伴い、小学校や地域住民との活動などを見直していきます。</p> <p>(2) 年1回発行の法人広報誌を継続していくとともに、ホームページ、フェイスブック等により法人が行う事業を積極的に発信していきます。</p>	<p>(1) 「そよ風事業」について、そてつ会と更生会スタッフが行う「福祉の授業」を学校で再開。子どもの施設訪問や声掛け訓練は今年度も見合わせた。学習支援は毎月開催できて登録者は前年度の3倍に増加。1回当たり平均参加者が25.7人になった。</p> <p>(2) 法人広報誌は12月に発行。ホームページは事業所の広報誌発行の都度更新、フェイスブックの更新は涼松が年間25回、竹山苑67回、ともいき2回、カラット11回、そよかぜ事業が12回、前年度より大きく回数を増やすことができた。</p>	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症流行前に行っていた、小学生の高齢者及び障害者施設訪問や地域での徘徊模擬訓練の再開の目途が立っていない。</p> <p>(2) フェイスブックによる広報を全事業所に広げていくということと、フェイスブックを見られない方々への広報が課題である。</p>
(方針4) 良質な福祉人材を育成します		
人材の定着に向けた取組みを強化します		
<p>(1) 法人内事業所間で、職員交流を進め、協働により相乗効果を目指します。</p> <p>(2) 法人会議等を通して、指導的職員層の育成に取り組みます。</p>	<p>(1) 涼松と岡村さん家デイ、竹山苑と岡村さん家デイとの間で職員派遣、交流を実施することができた。</p> <p>(2) 法人会議を年4回実施、涼松において実施した経営会議も指導的職員層の育成に資することができた。</p>	<p>(1) 職員交流の事業所、職種、人員の幅をいかに広げていけるかが課題である。</p> <p>(2) 法人会議については情報共有が主となっており、協議事項等内容の充実を図る必要がある。</p>

## 2 主な事業実績・概要

### (1) 職員数

(令和5年4月1日現在)

	常勤	非常勤	合計
本部	3 (2)	1	4 (2)
竹山苑	32 (7)	19 (1)	51 (8)
ともいき	3 (1)	0	3 (1)
カラット	7 (5)	3 (1)	10 (6)
涼松	27 (1)	22 (2)	49 (3)
岡村さん家通所	4	8 (2)	12 (2)
岡村さん家居宅	2	0	2 0
合 計	70	50	120

(令和6年3月31日現在)

	常勤	非常勤	合計
本部	3 (2)	1	4 (2)
竹山苑	33 (7)	17	50 (7)
ともいき	3 (1)	0	3 (1)
カラット	7 (5)	2	9 (5)
涼松	26 (2)	21 (1)	47 (3)
岡村さん家通所	5 (1)	8 (1)	13 (2)
岡村さん家居宅	2	0	2 0
合 計	70	48	118

※ 常勤は再雇用を含む。カッコ内は兼務者の内数。

### (2) 離職者数及び離職率（年度当初の人数に対する離職者（半年以上勤務者）の割合）

令和4年度

	常勤		非常勤		合計	
本部	0	-	0	-	0	-
竹山苑	1	3.2%	2	10.0%	3	5.9%
ともいき	0	-	0	-	0	-
カラット	0	-	0	-	0	-
涼松	2	7.1%	1	4.5%	3	6.0%
岡村さん家通所	0	-	1	16.7%	1	10.0%
岡村さん家居宅	0	-	0	-	0	-
合 計	3	4.3%	4	8.0%	7	5.9%

令和5年度

	常勤		非常勤		合計	
本部	0	-	0	-	0	-
竹山苑	1	3.1%	5	26.3%	6	11.8%
ともいき	0	-	0	-	0	-
カラット	1	14.3%	0	-	1	10.0%
涼松	1	3.7%	2	9.1%	3	6.1%
岡村さん家通所	0	0.0%	2	25.0%	2	16.7%
岡村さん家居宅	0	-	0	-	0	-
合 計	3	4.3%	9	18.0%	12	10.0%

## (3) 資格保有職員数（令和6年3月31日現在）

	介護福祉士	社会福祉士	ケアマネ	看護師	准看護師	管理栄養士	栄養士	保育士
本部	1	3 (2)	1 (1)	0	0	0	0	0
竹山苑	25 (4)	3 (3)	1 (1)	1	2	0	1	2
ともいき	2	3 (1)	3 (1)	0	0	0	0	0
カラット	6 (4)	2	1	0	0	0	0	1
涼松	17	1 (1)	2 (1)	3	2	1	0	1
岡村さん家通所	7 (1)	0	0	1	1	0	0	1
岡村さん家居宅	2	1	2	0	0	0	0	0
合 計	55.5	9.5	8	5	5	1	1	5

※ カッコ内は兼務者、内数

## (4) 法人会議の実施（4回）

6月1日、9月22日、12月8日、3月7日

## (5) 代表者会議の実施（9回）

5月4日・22日、6月6日・21日、9月22日、10月27日、11月22日、1月10日、2月26日

## (6) 役員会等の実施

## ア 理事会の開催（4回）

- ① 令和5年度第1回理事会（令和5年6月1日、オンライン）
  - ・令和4年度事業報告及び決算について
  - ・資金運用規程の一部改正について
  - ・特別養護老人ホーム涼松 運営規程の一部改正について
  - ・理事及び監事候補者の選定について
  - ・資金運用責任者の任命について
- ② 令和5年度第2回理事会（令和5年6月23日、山川図書館）
  - ・理事長及び業務執行理事の選任について
- ③ 令和5年度第3回理事会（令和5年11月30日、竹山苑）
  - ・令和5年度第1次資金収支補正予算案について
  - ・評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会の開催について
  - ・放課後等デイサービス カラット 運営規程の一部改正について

<p>イ 評議員会の開催（3回）</p> <p>ウ 監事監査（2日間）</p>	<p>④ 令和5年度第4回理事会（令和6年3月7日、オンライン）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度第2次資金収支補正予算(案)について</li> <li>・ 令和6年度事業計画(案)について</li> <li>・ 令和6年度資金収支予算(案)について</li> <li>・ 職員就業規則等の一部改正について（職員就業規則・給与規程、非常勤職員就業規則・給与規程）</li> <li>・ 運営規程の一部改正について（竹山苑入所・短期入所・居宅、ともいき、カラット、岡村さん家通所）</li> </ul> <p>① 令和5年度定時評議員会（第1回評議員会）（令和5年6月23日、山川図書館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度事業報告及び決算について</li> <li>・ 理事及び監事の選任について</li> </ul> <p>② 令和5年度第2回評議員会（令和5年12月11日、山川文化ホール）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度第1次資金収支補正予算案について</li> </ul> <p>③ 令和5年度第3回評議員会（令和6年3月18日、颯娃文化会館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度第2次資金収支補正予算(案)について</li> <li>・ 令和6年度事業計画(案)について</li> <li>・ 令和6年度資金収支予算(案)について</li> </ul> <p>① 涼松・岡村さん家通所・岡村さん家居宅（5月17日 涼松）</p> <p>② 本部・竹山苑・ともいき・カラット（5月18日 竹山苑）</p>
<p>(7) 研修</p> <p>ア 職場内研修</p> <p>イ 職場外研修</p>	<p>なし</p> <p>5月 23日 県社会福祉法人経営者協議会総会及び総会時研修（2名）</p> <p>9月 5日 福祉人材確保支援セミナー(2名)</p> <p>11月 19日 スマイリング・パーク地域貢献事業講演（2名）</p> <p>12月 5日 県社会福祉法人経営者大会（2名）</p> <p>1月 23日 福祉医療機構、経営分析プログラム等説明会(オンライン 6名)</p> <p>2月 29日 令和5年度 鹿児島県経営協セミナー（2名）</p>

(8) 設備管理 購入・工事	該当なし
(9) 地域との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習支援事業 12回（毎月開催）</li> <li>4月 23日 かごしまこども食堂・地域食堂ネットワーク総会(オンライン)</li> <li>5月 31日 令和5年度そよ風事業・学校との協働会議（別府小学校）</li> <li>6月 7日 子ども食堂ネットワーク南薩地区交流会</li> <li>7月 10日 福祉の授業（別府小学校）</li> <li>9月 7日 そよ風事業 ポスター・標語審査（別府小）</li> <li>10月 13日 そよ風事業 ポスター・標語優秀作品表彰式（別府小）</li> <li>24日 そよ風事業 のぼり旗設置・ポスター及び標語町内掲示開始</li> <li>31日 学習支援運営会議（宮脇地区公民館）</li> <li>2月 14日 そよ風事業計画会議（岡村自治公民館）</li> </ul>
(10) 求人活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月 7日 鹿児島医療福祉専門学校がダンス</li> <li>12月 14日 令和5年度南薩地区専門高校フェスタ</li> <li>21日 鹿児島女子短期大学ガイダンス</li> <li>3月 19日 高校生向け地元企業ガイダンス（指宿市）</li> </ul>



II 障害者支援施設 竹山苑		
1 重点項目における評価と課題		
事業計画	評価	課題・今後の取組
(方針1) 健全な財政基盤をつくります		
持続可能な施設運営に努めます		
<p>(1) 施設利用が必要な方々に必要な情報が適宜提供されるよう各種機関との連携を強化し、利用稼働の安定に努めます。</p> <p>(2) 感染症予防を引き続き行うとともに、事業継続計画の策定に取り組みます。</p> <p>(3) 昨今の燃料費高騰や物価高に鑑み、現実的な節約と仕訳をおこなうことで経費節減に努めます。</p>	<p>(1) 病院地域連携室や相談支援事業所との連携により、入所者・待機者の確保に努めた。これにより待機者増、減算がかからない範囲での入所利用者の定員を超えた受入れを行って、安定した稼働率を保持できた。</p> <p>(2) 3月に新型コロナウイルス感染が発生したが、これまでの経験も踏まえた対応を行ない、感染拡大を最小限におさえることができた。重篤化したケースもなかった。事業継続計画については、BCP会議を設定して検討・策定を行った。</p> <p>(3) 節約に努めることで水道光熱費や燃料費等は前年度に対し微増で収まったが、修繕費等について支出が大きくなった。</p>	<p>(1) 引き続き、各関係機関とコミュニケーションを取りながら、ニーズに応じた支援・受け入れが出来るよう努めていく。</p> <p>(2) 今後も感染症予防、発生時の適切な対応に努めるとともに、事業継続計画に基づく研修・訓練を行い、計画をブラッシュアップすることで有事への備えを推進していく必要がある。</p> <p>(3) 物価高騰は継続しており、引き続き節約に努めるとともに、修繕や購入についても精査しながら予算執行に努める必要がある。</p>
(方針2) 個人の尊厳を守ります		
その人らしさを護る、個別生活支援に努めます		
<p>(1) 個別性を尊重し、その人らしくあるための支援を提供できるよう、業務改善と見直しによる日中活動の充実を図ります。</p> <p>(2) 必要な方へ成年後見制度の導入をすすめ、利用者の権利を護ります。</p>	<p>(1) 職員サークル活動にて、環境美化や手作りで歓談スペース作り等を行った。また、ハロウィンイベントの開催やキッチンカーを呼ぶなど、これまでにない新しい活動を取り入れた。</p> <p>(2) 申し立ての支援実績はなかった。</p>	<p>(1) 利用者から今後も継続してほしいといった取り組みも多く、今後の日中活動に継続的に活かしていく。</p> <p>(2) ご本人、ご家族の意向を確認しながら、必要であれば情報提供・申し立て支援を行っていく。</p>

<p>(3) 虐待防止、身体拘束の適正化をさらに推進していきます。</p>	<p>(3) いつくしみ会において、虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会を実施した。委員のご縁もあり、山川地区の民生委員の施設見学の受け入れも行った。</p>	<p>(3) 虐待防止・身体拘束適正化に引き続き努めるとともに、開かれた施設として第三者に入ってもらえるような機会をさらに設けていく。</p>
<p>(方針3) 地域社会とのつながりを大事にします</p>		
<p>地域ニーズに応じた事業展開、活動を推進します</p>		
<p>(1) 地域の行事や取り組みに積極的に参画し、地域の生活者である利用者、地域資源としての施設であることを再確認出来るよう取り組みます。</p> <p>(2) 自立支援協議会等への参画を通して地域ニーズにアンテナを張り、それに応じた事業展開ができるよう、専門性の獲得と情報収集に努めます。</p>	<p>(1) コロナ感染症が5類に移行したことを踏まえ、地域の行事や各種イベントに、利用者の意向を聞き取りながら積極的に参加した。</p> <p>(2) 指宿市自立支援協議会の就労生活部会に継続的に参加し、各事業所、相談支援事業所と情報共有・連携の土壌を深めた。</p>	<p>(1) 引き続き、地域との関わり・参加を行っているよう、情報収集・提供と支援に努める。</p> <p>(2) 指宿市の地域づくりの取り組みとしての協議会に、引き続き継続して参加していく。</p>
<p>(方針4) 良質な福祉人材を育成します</p>		
<p>支援の質と職員のやりがいを高めていきます</p>		
<p>(1) 個別支援を進めるためのノウハウやアイデアを内外問わず積極的に取り入れ、職員のやりがいやモチベーション向上を図ります。</p> <p>(2) 研鑽の機会と職員間の交流を推し進め、チーム支援の意識涵養、ストレスケアに努めます。</p> <p>(3) 介護機器の導入活用で、ノーリフトケアによる腰痛予防に引き続き取り組みます。</p>	<p>(1) 職員サークル活動にて、他事業所の見学、障害特性の学習と周知等行った。自事業所以外の他事業について知ることによって、大いに刺激となった。</p> <p>(2) 職員サークル活動にて、職員交流の機会としてミニバレー等の軽スポーツを企画するなど、職員間の交流を深めることが出来た。</p> <p>(3) リフター等の活用を積極的に行い、腰痛を発症する職員はいなかった。</p>	<p>(1) 学びの姿勢を保ちながら、年間通して行った活動の成果を活かし、事業・日中活動に反映させ、実践していく。</p> <p>(2) サークル活動で得られた新しい取り組みを継続し、さらなる職員間のコミュニケーション、チームワークの向上を図る必要がある。</p> <p>(3) 引き続き介護機器を活用、導入し、介護負担の軽減、安全な介護に努めていく必要がある。</p>

## 2 主な事業実績・概要

### (1) サービス利用状況

事業名	定員	令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		延利用	稼働率	延利用	稼働率	延利用	稼働率	前年度比
入所	50名	17,768名	97.4%	17,718名	97.1%	18,229名	99.6%	102.9%
生活介護のみ	10名	1,861名	64.4%	1,849名	62.3%	1,966名	57.5%	106.3%
日中一時支援		87名		82名		53名		64.6%
短期入所	6名	607名	28.0%	512名	23.4%	675名	30.7%	131.8%
居宅介護		737名		539名		602名		111.7%

### (2) 事故、ヒヤリハット

ア 事故	4 件
イ ヒヤリハット	203 件
ウ 行政報告	2 件

### (3) 苦情・相談

0 件

### (4) 家族等の面会

年間回数	0	1	2～5	6～11	12以上	計
人数	13	0	27	8	4	52

### (5) 行事・サークル活動等

#### 苑内行事

6月・10月・11月・2月 キッチンカー来苑  
 7月 茶話会  
 9月 BBQ&花火大会、ハロウィンイベント  
 12月 19～21日 忘年会週間  
 2月 節分豆まき、バレンタインパフェ作り  
 3月 ホワイトデーパフェ作り、ハンドマッサージ体験

<p>サークル活動</p> <p>その他</p>	<p>・ 学習 22回 (週1/月曜)                      ・ 書道 35回 (週1/火曜)</p> <p>・ 麻雀 45回 (週1/木曜)                      ・ パソコン 21回 (週1/木曜)</p> <p>9月・10月・12月・3月      利用者会</p> <p>7月・11月・3月              いくししみ会</p>
(6) ボランティア受入	なし
(7) 実習受入	なし
<p>(8) 研修</p> <p>ア 職場内研修</p> <p>イ 職場外研修</p>	<p>7月 復命研修 体位変換・ポジショニングケアプログラム、介護レクリエーション 排せつのメカニズム・オムツの当て方、新人・中堅職員研修</p> <p>9月 加算要件等について</p> <p>10月 仕事を行う上での姿勢や連携について</p> <p>12月 復命研修 ベッド上でのポジショニング 執務態度について</p> <p>1月 統合失調症について</p> <p>2月 虐待防止・身体拘束廃止について 報酬改定について</p> <p>4月 社会保険に関する研修 (事務員1名)</p> <p>5月 社会福祉施設等新任職員研修 (生活支援員1名) 新任社会保険事務担当者研修 (事務員1名) 一般労働条件及び労働災害防止対策等に関する研修会 (副苑長、衛生管理者) 介護レクリエーション研修 (生活支援員2名) 労務管理研修 (事務員1名) 社会福祉施設等新任職員研修 (生活支援員2名)</p>

- 6月 サービス管理責任者スキルアップ研修(オンライン サビ管1名)  
15～16日 九障協 リーダー研修(苑長、副苑長、サビ管、生活支援員)  
介護職スキルアップ研修 排泄ケア(生活支援員1名)  
27～28日 社会福祉施設等中堅職員研修(オンライン 生活支援員2名)  
介護職スキルアップ研修 体位変換・ポジショニングケア(生活支援員1名)
- 7月 サービス管理責任者更新研修(オンライン 生活支援員1名)  
更生会 慈生園施設見学 職員6名  
20～21日 全身協研究大会/群馬(副苑長、サビ管、看護師)
- 8月 カスタマハラメント研修(オンライン 事務員2名)  
社長のための「社員の事故、病気、ケガ、うつ病対策」セミナー(事務員1名)
- 9月 28～29日 九州障害児者研究大会/佐賀(生活支援員3名)
- 10月 福祉サービスに関する相談・苦情解決事業研修(オンライン 苑長)  
介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修 演習(生活支援員1名)  
19～20日 九州障害者支援施設協議会 サービス提供職員研修会 ファシリ(副苑長)  
19～20日 鹿児島県サービス管理責任者研修 ファシリ(サビ管1名)  
経営協主催 令和5年度第2回会計研修(事務員1名)
- 11月 介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修(生活支援員1名)  
年末調整特別講座(事務員1名)  
社会保険合同実務研修(事務員1名)  
介護セミナー ポジショニング介護技術(生活支援員2名)
- 12月 14～15日 鹿児島県強度行動障害支援者養成研修 基礎研修(オンライン 生活支援員1名)  
家庭でできる優しい介護食(栄養士)
- 1月 経営協会計研修(事務員1名)  
サービス管理責任者研修 ファシリ(サビ管1名)
- 2月 九州障害者支援施設協議会研究大会(苑長、副苑長、生活支援員2名)  
感染症地域連絡研修会(看護師1名)  
社会保険事務担当者研修会(事務員1名)

	<p>健康保険委員研修会（事務員1名）  3月 1・2日 介護福祉士基本研修（生活支援員1名）  障害者虐待防止・権利擁護研修（生活支援員1名）  入社後にもモメない労働条件通知書の作成実践セミナー（事務員1名）</p>																																	
<p>(9) 防災対策  ア 防災訓練          イ 消防設備点検</p>	<table border="0"> <tr> <td>4月 防災教育</td> <td>10月 所在不明者捜索・非常事態呼集訓練</td> </tr> <tr> <td>5月 公用車使用時の事故対応訓練（警察署合同）</td> <td>11月 総合訓練（分遣所合同訓練）</td> </tr> <tr> <td>6月 水害対応訓練</td> <td>12月 夜間想定不審者対応訓練</td> </tr> <tr> <td>7月 地震対応訓練</td> <td>1月 感染症対応訓練（2日間）</td> </tr> <tr> <td>9月 総合訓練（分遣所合同訓練）</td> <td>2月 総合訓練（夜間想定）</td> </tr> <tr> <td>9月 応急救護訓練</td> <td>3月 本年度反省と次年度計画</td> </tr> </table> <p>年2回実施（9月、3月）</p>	4月 防災教育	10月 所在不明者捜索・非常事態呼集訓練	5月 公用車使用時の事故対応訓練（警察署合同）	11月 総合訓練（分遣所合同訓練）	6月 水害対応訓練	12月 夜間想定不審者対応訓練	7月 地震対応訓練	1月 感染症対応訓練（2日間）	9月 総合訓練（分遣所合同訓練）	2月 総合訓練（夜間想定）	9月 応急救護訓練	3月 本年度反省と次年度計画																					
4月 防災教育	10月 所在不明者捜索・非常事態呼集訓練																																	
5月 公用車使用時の事故対応訓練（警察署合同）	11月 総合訓練（分遣所合同訓練）																																	
6月 水害対応訓練	12月 夜間想定不審者対応訓練																																	
7月 地震対応訓練	1月 感染症対応訓練（2日間）																																	
9月 総合訓練（分遣所合同訓練）	2月 総合訓練（夜間想定）																																	
9月 応急救護訓練	3月 本年度反省と次年度計画																																	
<p>(10) 設備管理</p>	<p>購入・工事（10万円以上）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>数 量</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32インチTVモニター（防犯カメラ用）</td> <td>1台</td> <td>132,000円</td> </tr> <tr> <td>冷蔵庫（スタッフルーム）</td> <td>1台</td> <td>182,298円</td> </tr> <tr> <td>Ⅲ電動ベッド一式</td> <td>1式</td> <td>246,400円</td> </tr> <tr> <td>48V型テレビ（食堂娯楽室）</td> <td>1台</td> <td>192,505円</td> </tr> <tr> <td>全自動高圧蒸気滅菌器</td> <td>1台</td> <td>370,645円</td> </tr> <tr> <td>書類倉庫仕切り（会議室）</td> <td>1式</td> <td>250,800円</td> </tr> <tr> <td>非常用放送設備</td> <td>1式</td> <td>1,045,000円</td> </tr> <tr> <td>分電盤取替改修（食堂前、医務室横、ともいき）</td> <td>3か所</td> <td>1,430,000円</td> </tr> <tr> <td>高圧受電設備保護装置取替</td> <td>1式</td> <td>174,790円</td> </tr> <tr> <td>食堂照明器具交換</td> <td>14台</td> <td>559,075円</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	数 量	金 額	32インチTVモニター（防犯カメラ用）	1台	132,000円	冷蔵庫（スタッフルーム）	1台	182,298円	Ⅲ電動ベッド一式	1式	246,400円	48V型テレビ（食堂娯楽室）	1台	192,505円	全自動高圧蒸気滅菌器	1台	370,645円	書類倉庫仕切り（会議室）	1式	250,800円	非常用放送設備	1式	1,045,000円	分電盤取替改修（食堂前、医務室横、ともいき）	3か所	1,430,000円	高圧受電設備保護装置取替	1式	174,790円	食堂照明器具交換	14台	559,075円
名 称	数 量	金 額																																
32インチTVモニター（防犯カメラ用）	1台	132,000円																																
冷蔵庫（スタッフルーム）	1台	182,298円																																
Ⅲ電動ベッド一式	1式	246,400円																																
48V型テレビ（食堂娯楽室）	1台	192,505円																																
全自動高圧蒸気滅菌器	1台	370,645円																																
書類倉庫仕切り（会議室）	1式	250,800円																																
非常用放送設備	1式	1,045,000円																																
分電盤取替改修（食堂前、医務室横、ともいき）	3か所	1,430,000円																																
高圧受電設備保護装置取替	1式	174,790円																																
食堂照明器具交換	14台	559,075円																																

アルミサッシ取替 (カラット)	1 式	121,000円
浄化槽放流ポンプ取替	1 式	207,900円
エコキュート修理	1 式	126,500円
高圧受電設備絶縁油入換改修	1 式	401,800円

(11) 地域との関わり

地域行事への参加

- 4 月 指宿市身障協総会 (利用者2名)  
6 月 山川港祭り (利用者7名) 同 花火大会 (利用者2名)  
指宿マルシェ外出 利用者4名  
指宿市福祉スポーツ大会 利用者4名  
7 月 大山地区六月灯 利用者2名  
9 月 指宿温泉祭り外出 利用者3名  
10 月 国体外出 利用者6名 国体外出 利用者2名 国体外出 利用者3名  
11 月 山川文化祭 利用者3名  
月 福祉施設交流スポーツ大会 利用者3名

施設見学等の受入れ

- 7 月 山川地区民生委員 30名  
9 月 社会福祉法人更生会 6名  
2 月 山川小学校4年生との交流会 (2日間)

Ⅲ 相談支援事業所 ともいき		
1 重点項目における評価と課題		
事業計画	評価	課題・今後の取組
(方針1) 健全な財政基盤をつくります		
持続可能な事業運営を目指します		
(1) 地域のニーズをアセスメントし、法人内に伝達する役割を担い、持続可能かつ地域に求められる事業展開につなげていきます。 (2) 高い質と専門性が評価される体制の向上を目指します。 (3) 重層的な相談支援体制の整備や地域包括ケアシステム構築推進に協力し、地域移行・定着、居住支援に取り組みます。	(1) 推進会議・法人会議で地域課題の情報共有を行った。 (2) 令和5年度に1名主任相談支援専門員研修を受講し、主任相談支援専門員2名体制となった。さらに、令和6年度報酬改定に向けて情報収集に努め、体制を整えた。 (3) 地域移行・定着の実績はなかった。	(1) 持続可能かつ地域に求められる事業展開につなげていくため、継続して推進会議・法人会議で地域課題の情報共有をし、事業展開を協議していく。 (2) さらに質の高い体制がとれるように情報収集し、対応していく。 (3) 地域移行・定着支援は1件からでも実績を作っていく。
(方針2) 個人の尊厳を守ります		
利用者の声に耳を傾け、利用者の立場に寄り添った支援をします		
(1) 意思決定支援のプロセスを確認し、利用者の主体性を尊重します。 (2) 地域や法人とともに組織で虐待防止の普及・啓発に取り組み、利用者の権利を擁護していきます。	(1) 本人を交えた、担当者会議を実施している。 (2) 虐待防止委員会を開催し、虐待を未然に防止することやケース検討会で権利を擁護できるよう努めた。	今後も会議の実施や、研修受講にて、本人を中心とした意思決定支援や虐待防止や権利擁護への取り組みを継続していく。必要に応じてケース検討を行って、チームで対応していく。
(方針3) 地域社会とのつながりを大事にします		
ともに生きる地域社会の実現を目指し、地域貢献に努めます		
(1) 災害時対応で行政と連携し、避難行動要支援者に対する個別避難計画作成に協力していきます。	(1) 災害時対応は、令和5年度に地域自立支援協議会相談支援部会を通じて、危機管理課と意見交換を実施できた。	(1) 災害時対応は、今後地域自立支援協議会全体を通して、危機管理課とさらなる連携を働きかけ、具体的にケース検討を通じて、実践に近づけていく必要がある。



<p>(2) 住民とのつながりを強化し、地域で複合化・複雑化するニーズに対して制度を超えて包括的な支援ができるよう取り組みます。基幹相談支援センター、地域生活支援拠点の設置に向け積極的に参画し、地域共生社会の実現に寄与します。</p>	<p>(2) 基幹相談支援センターや地域生活支援拠点の設置に向けては、自立支援協議会の各部会での協議から地域課題を抽出し、自立支援協議会全体会へつなげることができた。自立支援協議会全体会にて第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画に設置目標を盛り込み、策定された。</p>	<p>(2) 基幹相談支援センターの設置は、第7期障害福祉計画の期間内設置の目標があり、設置実現の可能性が高く、今後も設置に向け、協議に積極的に参画していく必要がある。</p>
---	--	--

(方針4) 良質な福祉人材を育成します

更なるサービスの質の向上を目指します

<p>(1) 鹿児島県相談支援ネットワーク会議の活動を通じて、圏域及び県内の相談支援事業所のネットワーク化を推進するとともに、質の向上を図るための研修会などの企画・運営を担います。</p> <p>(2) 社会福祉士実習受け入れ等、人材育成とともに人材不足の解消（社会的要請に応える）に努めます。</p>	<p>(1) 鹿児島県相談支援ネットワーク会議の活動で、圏域及び県内の質の向上を図るための研修会などの企画・運営を実施した。</p> <p>(2) R5年度1名の社会福祉士実習受け入れを行った。地域では、相談支援専門員が不足している現状がある。特に、障害児相談支援の利用待機がある。</p>	<p>(1) 質の向上やネットワーク維持・拡大のため、継続して鹿児島県相談支援ネットワーク会議の活動に参画していく必要がある。</p> <p>(2) 実習生の受け入れは、今後も要請があれば受け入れていく。地域の相談支援の状況も情報収集に努め、人材育成や地域相談支援体制の充実を図っていく。</p>
---	---	--

2 主な事業実績・概要

<p>(1) サービス利用状況（延利用）</p>		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
		延利用	延利用	延利用	稼働率	前年度比
	計画	145名	158名	172名	69.0%	108.9%
	継続	408名	422名	408名		96.7%
<p>*令和5年度の「計画+継続」の稼働率は、標準担当件数 35件/1人 に対する割合</p>						
<p>(2) 苦情・相談</p>	なし					
<p>(3) 実習受入</p>	社会福祉士実習 令和5年8月9日～9月8日 鹿児島国際大学3年生 1名					
<p>(4) 研修 ア 職場内研修</p>	竹山苑に同じ					

イ 職場外研修

4月	27日	令和5年度鹿児島県相談支援従事者研修ファシリテーター研修
5月	25日	令和5年度第1回重症難病医療ネットワーク研修会
7月	8日	鹿児島県相談支援ネットワーク会議 (KGSN) 令和5年度 総会・第1回全体研修会
	12日	第31回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会大分大会 (オンライン配信開始)
8月	22日	令和5年度鹿児島県相談支援従事者初任者研修中期ファシリテーター研修
	24日	鹿児島県相談支援ネットワーク会議 (KGSN) 令和5年度 第1回南薩圏域研修会
	29日	～30日 令和5年度相談支援従事者初任者研修(中期)
9月	4日	～5日 令和5年度職場内研修担当者職員研修【養成コース】(オンライン)
	11日	指宿市4部会合同研修会 (ゲートキーパー養成講座)
	19日	～21日 厚生労働省 障害者虐待防止権利擁護指導者養成研修 (オリンピックセンター)
	26日	～28日 令和5年度九州ブロック主任相談支援専門員研修 福岡市 主任相談支援専門員が2名となった。(オンラインは9/13～18)
10月	11日	サービス管理責任者基礎研修 ファシリテーター研修(オンライン)
	26日	令和5年度相談支援従事者初任者研修(後期②) ファシリテーター研修(オンライン)
11月	2日	令和5年度若年性認知症セミナー
	17日	令和5年度 第2回 鹿児島県重症難病ネットワーク研修会
12月	5日	令和5年度相談支援従事者現任研修(前期)ファシリテーター研修会
	14日	～15日 令和5年度九州地区障がい者相談支援事業合同研修会 (長崎県)
	26日	措置入院者等の退院後支援従事者研修会
1月	26日	令和5年度指宿市こども支援部会「療育学習会」
2月	13日	相談支援従事者現任研修(後期) ファシリテーター研修
	15日	相談支援従事者専門コース別研修
	17日	就学に関する学習会 (ぶらんこ)
	21日	鹿児島県障害者虐待防止権利擁護研修 ファシリテーター研修
	29日	鹿児島県相談支援ネットワーク会議令和5年度 第2回南薩圏域研修会
3月	1日	鹿児島県相談支援ネットワーク会議 (KGSN) 令和5年度 第2回全体研修会

(5) 防災対策	竹山苑に同じ								
(6) 設備管理	購入・工事（10万円以上） <table border="1" data-bbox="824 296 2007 389"> <thead> <tr> <th data-bbox="824 296 1529 341">名 称</th> <th data-bbox="1529 296 1711 341">数 量</th> <th data-bbox="1711 296 2007 341">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="824 341 1529 389">ノートパソコン</td> <td data-bbox="1529 341 1711 389">1 台</td> <td data-bbox="1711 341 2007 389">129,800円</td> </tr> </tbody> </table>			名 称	数 量	金 額	ノートパソコン	1 台	129,800円
名 称	数 量	金 額							
ノートパソコン	1 台	129,800円							
(7) 地域との関わり	4月 14日 鹿児島県相談支援ネットワーク会議 三役会 5月 11日 九州ブロック代表者会議 13日 日本相談支援専門員協会総会、全国相談支援ネットワーク代表者会議 17日 県内協議会交流会 23日 鹿児島国際大学研修事業アドバイザー会議 24日 鹿児島県相談支援従事者研修企画運営会議 6月 22日 鹿児島県相談支援ネットワーク会議 3役会 23日 鹿児島県相談支援ネットワーク会議 運営委員会 30日 令和5年度 鹿児島県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修（ファミリー） 7月 7日 令和5年度相談支援専門員との面談会 指宿特別支援学校 鹿児島国際大学社会福祉学科2023年度ソーシャルワーク実習事前協議会 10日 わかば（奄美市） 指宿市内施設見学同行 25日 鹿児島国際大学研修事業全体会議 28日 県医療的ケアアドバイザー会議 8月 17日 令和5年度就学を考える会 21日 鹿児島県医療的ケア児等支援センター開所に向けた記念講演会 22日 令和5年度指宿市子ども発達支援センターさつき園公開療育及び保護者との意見交換会 24日 令和5年度 指宿特別支援学校進路指導研修会 28日 令和5年度鹿児島県特別支援学校教育研究会進路指導部会夏季研修会 9月 5日 鹿児島県医療的ケア児等支援センター開所式 13日 鹿児島県医療的ケア支援コーディネーター養成研修企画会議								

- 29日 令和5年度相談支援従事者初任者研修（講師派遣）（オンライン）
- 10月 3日 南薩就労支援ネットワーク会議 穎娃文化会館
- 11日 与論町自立支援協議会 全体会・研修会（講師派遣）
- 13日 社会福祉法人天上会 権利擁護研修会（講師派遣）
- 16日 鹿児島県医療的ケアアドバイザー会議
- 20日 令和5年度家族介護教室 なのはな館  
地域包括支援センター主催 若年性認知症の研修、交流会
- 23日 鹿児島県障害者虐待防止・権利擁護研修 打合せ
- 23日 鹿児島県医療的ケア支援コーディネーター養成研修企画会議
- 26日 令和5年度なんさつ障害者就業・生活支援センター連絡調整会議 穎娃文化会館
- 11月 1日 令和5年度相談支援従事者初任者研修（後期②）（～11月2日）講師派遣
- 3日 若年性認知症本人&家族の交流会「オレンジTime」
- 14日 鹿児島国際大学サテライトキャンパスアドバイザー会議
- 25日 令和5年度指宿市生涯学習フェスティバル
- 12月 1日 鹿児島国際大学社会福祉学科2023年度 ソーシャルワーク実習 事後協議会
- 6日 鹿児島県相談支援ネットワーク会議 運営委員会
- 7日 鹿児島県医療的ケア児等支援コーディネーター養成研修 打合せ
- 12日 令和5年度相談支援従事者現任研修（前期）講師派遣
- 1月 11日 令和5年度 医療的ケア児等コーディネーター養成研修（～1月12日）講師派遣
- 15日 鹿児島県障害者虐待防止権利擁護研修 打合せ
- 22日 令和5年度相談支援従事者現任研修（中期）講師派遣
- 2月 2日 令和5年度創立記念学習会および交流会（さつき園）
- 6日 令和5年度小児慢性疾病児支援事業 広域連携会議  
（令和5年度小慢・医療的ケア児地域連携ネットワーク連絡会）
- 20日 大きくなったお祝い会（年中）（さつき園）
- 20日 令和5年度相談支援従事者現任研修（後期）（講師派遣）
- 24日 大きくなったお祝い会（年長）（さつき園）

	<p>3月 1日 令和5年度南薩圏域障害者地域連絡協議会  4日 鹿児島県障害者虐待防止権利擁護研修 鹿児島会場（講師派遣）  6日 鹿児島県障害者虐待防止権利擁護研修 大隅会場（講師派遣）  11日 南薩地域難病対策地域協議会  13日 指宿市地域自立支援協議会 運営会議  14日 鹿児島県障害者虐待防止権利擁護研修(オンライン)（講師派遣）  19日 さつき園 卒園式  21日 指宿市地域自立支援協議会 全体会  22日 鹿児島県医療的ケア児支援連絡協議会  24日 わかば 卒園式</p>
(8) その他実績等	<p>ア 障害支援区分認定調査（32件） ・指宿市 20件 ・南九州市 8件 ・枕崎市 4件  イ 指宿市障害者相談支援事業受託  ウ 南九州市障害者相談支援事業受託</p>

IV 放課後等デイサービス カラット		
1 重点項目における評価と課題		
事業計画	評価	課題・今後の取組
(方針1) 健全な財政基盤をつくります		
公益性に根ざした適正な収益を確保し、自立した安定的基盤を確立します		
(1) 子どもたちや保護者の声を聞き、継続的にサービスの質、満足度の向上に努めます。	(1) 感染対策を行いながら、年間計画の活動を実施することができた。3月後半からコロナ感染児童が複数名見られ、感染予防のため欠席児童が増えてしまった。	(1) 感染症に留意しながら、業務改善と見直しによる日中活動の充実を図る必要がある。また、今後は地域の行事や取り組み等積極的に参加していく。
(2) 安定的な運営を行うために、十分な勤務、人員体制を確保し、良質なサービスを提供していきます。	(2) 竹山苑と連携し適切な人員配置で対応することができた。また、職員同士の情報共有や連絡調整にスマホやタブレット端末の通信アプリを活用し、業務の円滑化に努めた。	(2) 感染対策において、職員も多くの制限を受けながら就業しており、職員の活力の向上、メンタル・ストレスケアも課題である。
(方針2) 個人の尊厳を守ります		
子どもたちが地域で健やかな育ちや豊かな暮らしを送れるよう支援します		
(1) 子どもたちや家族に十分な説明をし、十分な理解が得られたうえでのサービスを提供します。	(1) カラット便りを毎月発行してカラットでの活動内容等をお知らせした。フェイスブックも随時更新しながら情報発信に努めた。	(1) 必要に応じて随時保護者の思いや考えに耳を傾けながら共通理解を図っていく必要がある。
(2) 学校外での集団活動を行う機会や安心・安全な居場所をつくることで、自立と社会スキル向上に努めます。	(2) 子どもが望む遊びや多彩な活動プログラムを用意し、ゆったりとした雰囲気の中でのサービスを提供することができた。	(2) 保護者の思いと児童の興味・関心のあることを取り入れながら、個別支援計画を立案していく。
(方針3) 地域社会とのつながりを大事にします		
地域社会への参加・包容を推進するため、各関係機関との連携を進め、地域の子育て環境や支援体制の構築に寄与します		
(1) 各関係機関、団体、家庭との連携を円滑なものとするため、自立支援協議会(こども部会)へ積極的に参加します。	(1) 指宿市こども部会定例会に参加し、各関係機関と情報交換を行い、共通理解を深めることができた。	

(2) 子どもの個別的状況に配慮しつつ、地域の社会資源を活用できるようサポートします。	(2) 地熱発電施設の見学、図書館や近隣の公園への外出、スーパーでの買い物体験、地域の農家宅でのみかん収穫体験等、様々な地域とのふれあい活動を実施することができた。	近隣の事業所、各関係機関と今後も定期的に連携を図り情報を共有していくことが必要である。
---	--	---

(方針4) 良質な福祉人材を育成します

放課後等デイサービスの専門性、質の向上に努めます

(1) 働きがいのある、魅力ある職場づくりに取り組んでいきます。	(1) 竹山苑職員サークルに所属し、それぞれ得意な分野を生かしながら活動に参加し、リフレッシュを図る事ができた。	事業者向け自己評価表及び保護者等向け評価表を職員全員で討議し、項目ごとに課題や工夫している点について保護者等との認識のずれを客観的に分析していく必要がある。
(2) 保護者による評価をホームページ上に掲載し、質の向上に反映させていきます。	(2) 厚生労働省が定めた放課後等デイサービスガイドラインの活用を徹底するとともに、利用する児童の保護者による評価を受け改善に努めた。	
(3) キャリア形成や能力開発を行うための各種教育・研修への参加に取り組みます。	(3) 法人内感染症対策における勉強会や外部のオンライン研修に参加し、児童発達支援、防災、感染症への意識向上に努めた。	

2 主な事業実績・概要

(1) サービス利用状況

	定員	令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		延利用	稼働率	延利用	稼働率	延利用	稼働率	前年度比
平日	10名	1,018名	52.5%	862名	43.7%	1,514名	75.0%	175.6%
土・祝日	10名	346名	35.7%	257名	25.4%	346名	55.0%	134.6%
合計		1,364名	46.9%	1,119名	37.6%	1,860名	70.2%	166.2%

※ 令和5年7月から土曜日営業を中止

(2) 事故、ヒヤリハット	ア 事故	0	件
	イ ヒヤリハット	1	件
	ウ 行政報告	0	件

(3) 苦情・相談	0 件
(4) 行事等	<p>9月 バーベキュー大会</p> <p>10月 ハロウィーンパーティー</p> <p>10月・11月 キッチンカー来苑</p> <p>11月 苑外行事（みかん収穫体験）利用者6名参加</p> <p>12月 苑外活動（山川地熱発電所見学）利用者9名参加</p> <p>1月 買い物体験「ニシムタ指宿店」利用者7名参加</p> <p>2月 苑外活動 ニシムタ指宿店・オーストラリア公園・開聞ふれあい公園</p> <p>3月 ひな祭り会</p> <p>7月・3月 いくしきみ会</p>
(4) ボランティア受入	0 件
(5) 実習受入	1件1名（鹿児島国際大学社会福祉科3年生）
(6) 研修 ア 職場内研修  イ 職場外研修	<p>9月 障害児通所支援事業所連絡会（講話動画配信視聴）</p> <p>2月 虐待防止権利擁護・身体拘束についての苑内研修</p> <p>1月 指宿市こども部会療育学習会</p>
(7) 防災対策	<p>5月 送迎時事故発生対応訓練（指宿警察署交通課職員1名）</p> <p>6月 風水害防災訓練</p> <p>7月 地震対応防災訓練</p> <p>8月 昼間想定火災訓練</p> <p>10月 防災訓練（防災通報訓練）</p>



	11月 夜間想定火災避難訓練 12月 不審者対応訓練 1月 感染に対する勉強会 2月 夜間想定火災避難訓練									
(8) 設備管理	購入・工事（10万円以上） <table border="1" data-bbox="824 437 2004 579"> <thead> <tr> <th data-bbox="824 437 1529 485">名 称</th> <th data-bbox="1529 437 1709 485">数 量</th> <th data-bbox="1709 437 2004 485">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="824 485 1529 533">車内置き去り防止安全装置</td> <td data-bbox="1529 485 1709 533">2台</td> <td data-bbox="1709 485 2004 533">269,500円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="824 533 1529 579">エアコン</td> <td data-bbox="1529 533 1709 579">1台</td> <td data-bbox="1709 533 2004 579">137,720円</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	数 量	金 額	車内置き去り防止安全装置	2台	269,500円	エアコン	1台	137,720円
名 称	数 量	金 額								
車内置き去り防止安全装置	2台	269,500円								
エアコン	1台	137,720円								
(9) 地域との関わり 施設見学等の受入れ  指宿市こども部会への参加	8月 指宿市民生委員 19人 9月 社会福祉法人更生会 6人 2月 山川小学校4年生との交流会（2日間）  8回									

V 特別養護老人ホーム 涼松		
1 重点項目における評価と課題		
事業計画	評価	課題・今後の取組
(方針1) 健全な財政基盤をつくります		
予算や収支を意識できる施設をつくります		
<p>(1) 予算や収支の状況に基づき、常に節約のポイントを意識しながら業務が行えるように努めます。</p> <p>(2) 関係機関と連携を図り、入所希望の掘り起こしを行いません。</p> <p>(3) 入居者の健康を守り、長く施設で過ごせるよう支援します。</p>	<p>(1) 身近に節約を意識できる水道光熱費を前年度より抑えることを目標に取り組み、毎月の経営会議や職員会議で職員全体に前年度と対比した数字を示すことで使用状況を周知し、経費節減を図ることができた。併せて情報通信機器等の活用で業務改善を行う等、残業時間を減少させることができた。</p> <p>(2) 近隣市にある病院や老人保健施設等の相談員と連携を深めたことで相談が増え、新規の利用者増につながった。</p> <p>(3) 入院させない生活環境を目指して入院要因の割合が高い疾病（尿路感染）について外部講師による研修会を実施し、排泄ケアの技術力アップを図ることができた。</p>	<p>(1) 水道光熱費のうち、特に電気については、研修会を行う等適切な使用法の意識が浸透出来たが、他の水道光熱費の支出については適正な使用がつかめず、「適切使用」の呼びかけに留まった。</p> <p>(2) 地元の相談員等からの相談は減少傾向にあるため、地元相談員との連携をさらに深める必要がある。</p> <p>(3) 体調を崩す時期は、冬季が中心であり、2月にノロの感染拡大があって新規入所や短期入所受け入れを1ヶ月間行えなかった。改めて日々の感染症対策の徹底が必要と考えている。</p>
(方針2) 個人の尊厳を守ります		
礼節を重んじる施設をつくります		
<p>(1) 配慮と敬意を念頭に、親しみを込めた丁寧な言葉遣いと態度で接します。</p> <p>(2) 一人ひとりに合わせて対応し、プライバシーを守ります。</p>	<p>職員面談で活用する執務態度等の評価シートの見直しを行った。新しい評価シートをもとに年2回の面談を実施し、礼節を重んじるケアについて一人一人が向き合う機会を作った。</p>	<p>親しみが行き過ぎて、言葉遣いが乱れるなど「親しみを込める」と「丁寧な言葉遣い」のバランスに悩む職員がおり、適宜指導が必要と考えている。</p>

<p>(3) 入所後もご家族とのつながりを感じていただけるよう努めます。</p>	<p>面会時間が制限されるなど、ご家族との関係が薄くなってきていることから、年3回、定期的にご家族へ近況報告する機会を作った。</p>	<p>近況報告手段を①電話 ②手紙 ③面会時の3通りとし、担当職員が報告しやすい方法を選べるようにした。報告率は上がったが、内容についてのご家族の満足度が不明なため、評価が難しく、ご家族の満足度調査が必要と考えている。</p>
<p>(方針3) 地域社会とのつながりを大事にします</p>		
<p>地域とのつながりを深める施設をつくります</p>		
<p>(1) そよ風事業を通して、地域の子どもやお年寄りと交流を深めます。</p> <p>(2) SNSや広報誌等を活用し、施設のタイムリーな情報を発信します。</p>	<p>(1) 施設内の様子がわかる動画を児童に見てもらい、疑問に思ったことを答えていくスタイルの福祉の授業を涼松職員が地元小学校へ出向いて実施した。</p> <p>(2) 日々のイベントを写真に収め、月ごとに整理することで、効率的に情報発信を行うことができた。</p>	<p>(1) 学校側の感染対策という観点から、利用者と直接触れ合う児童との交流は行えなかった。教職員の異動のたびに事業の説明が求められ、理解度に濃淡もあることから継続的な活動を他団体と行うことが難しいが、継続していくことが必要と考えている。</p> <p>(2) 写真撮影した職員がコメントまで記録するようマニュアル化した。概ね計画どおりに記録ができたが、コメントの内容について、もう一工夫必要である。</p>
<p>(方針4) 良質な福祉人材を育成します</p>		
<p>キャリアステージに見合う職員を育成する施設をつくります</p>		
<p>(1) 意見やアイデアを話し合うことで、気づきや学びを得られる場を設けます。</p> <p>(2) だれもが発言しやすい風通しの良い職場をつくります。</p> <p>(3) 職員がそれぞれの能力と求められている役割を最大限発揮して、最善の仕事を行ないます。</p>	<p>各部署内で話し合いの場を作ることを目標に取り組んだ。定期的開催できた部署、不定期に行えた部署と分かれたが、全部署にて業務確認を行うミーティングが実施出来た。</p> <p>一人一人の職員に求められる役割を忠実に果たしてもらうために業務マニュアルの見直しを行った。ミーティングが定期的にできていない部署は十分な見直しが行えなかった。</p>	<p>各部署内のミーティングは行えたが、連携を深めるためには、横の連携が欠かせない。今後は、部署を超えた話し合いの場の設定が必要である。</p> <p>業務マニュアルは、BCP（事業継続計画）の観点からも重要であり、今後も定期的な見直しが必要である。</p>

## 2 主な事業実績・概要

### (1) サービス利用状況

事業名	定員	令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		延利用	稼働率	延利用	稼働率	延利用	稼働率	前年度比
入所	50名	15,876名	87.0%	14,796名	81.1%	15,432名	84.0%	104.3%
短期入所	6名	587名	16.1%	457名	12.5%	399名	11.0%	87.3%

### (2) 事故、ヒヤリハット

ア 事故	91 件
イ ヒヤリハット	76 件
ウ 行政報告	21 件

### (3) 苦情・相談

0 件

### (4) 家族等の面会

年間回数	0	1	2～5	6～11	12以上	計
人数	20	9	14	12	9	64

### (5) 行事等

5月 5月より毎月1回茶話会を実施  
 6月 スモモ採り  
 9月 彼岸法要（仏具設置 1週間）  
 花火外出（大川）利用者2名 職員2+1名  
 10月 敬老会  
 ハロウィン&茶話会  
 11月 塩サバ炭焼き・焼いも&茶話会  
 12月 茶話会&クリスマス会  
 ゆず湯（3日間）  
 1月 書初め  
 3月 花見外出（2日間 利用者10名 職員5名）



	<p>9月 看取りケア研修会(オンライン)2名 多職種連携合同研修会(颯娃文化会館)2名</p> <p>10月 認知症介護基礎研修(オンライン)1名 実践力UP研修会(オンライン)1名</p> <p>11月 認知症介護基礎研修ⅠⅡ(オンライン)1名 認知症介護基礎研修Ⅰ(オンライン)1名 認知症介護基礎研修Ⅰ(オンライン)1名 実践力UP研修会(オンライン)2名</p> <p>1月 BCP策定研修(オンライン)2名 BCP策定研修(オンライン)2名 介護報酬研修(オンライン)2名 認知症介護基礎研修Ⅱ(オンライン)1名</p> <p>2月 実践力UP研修会(オンライン)1名 稼働率アップ研修(オンライン)2名 感染症対策研修(加世田保健所)2名 認知症介護基礎研修Ⅱ(オンライン)1名 第2回南九州市介護人材確保対策検討会(川辺庁舎別館)1名</p> <p>3月 指宿地区老施協協議員会・研修会(オンライン)1名 多職種連携研修(オンライン)1名</p>
<p>(9) 防災対策 ア 防災訓練</p>	<p>5月 食中毒BCP訓練</p> <p>7月 救急救命講習</p> <p>8月 災害BCP訓練(風水害対策)</p> <p>11月 職員非常呼集訓練</p> <p>12月 昼間火災想定避難訓練</p> <p>3月 災害BCP訓練(防災教育)、夜間火災想定避難訓練</p>

イ 消防設備点検	年2回実施（4月、10月）																		
(10) 設備管理	<p>購入・工事（10万円以上）</p> <table border="1" data-bbox="824 343 2004 625"> <thead> <tr> <th data-bbox="824 343 1529 389">名 称</th> <th data-bbox="1529 343 1709 389">数 量</th> <th data-bbox="1709 343 2004 389">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="824 389 1529 435">ボイラー修理</td> <td data-bbox="1529 389 1709 435"></td> <td data-bbox="1709 389 2004 435">370,920円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="824 435 1529 481">食器消毒保管庫部品交換</td> <td data-bbox="1529 435 1709 481"></td> <td data-bbox="1709 435 2004 481">132,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="824 481 1529 528">漏水修理</td> <td data-bbox="1529 481 1709 528"></td> <td data-bbox="1709 481 2004 528">165,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="824 528 1529 574">トイレ改修工事</td> <td data-bbox="1529 528 1709 574"></td> <td data-bbox="1709 528 2004 574">299,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="824 574 1529 625">バルブ交換工事</td> <td data-bbox="1529 574 1709 625"></td> <td data-bbox="1709 574 2004 625">150,000円</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	数 量	金 額	ボイラー修理		370,920円	食器消毒保管庫部品交換		132,000円	漏水修理		165,000円	トイレ改修工事		299,000円	バルブ交換工事		150,000円
名 称	数 量	金 額																	
ボイラー修理		370,920円																	
食器消毒保管庫部品交換		132,000円																	
漏水修理		165,000円																	
トイレ改修工事		299,000円																	
バルブ交換工事		150,000円																	
(11) 地域との関わり	7月 別府小学校福祉の授業（再掲）																		

VI 通所介護事業所 岡村さん家		
1 重点項目における評価と課題		
事業計画	評価	課題・今後の取組
(方針1) 健全な財政基盤をつくります		
人材確保に向けた取り組み、地域との関係の継続、生活環境・利用環境の基盤づくりに努めます		
(1) 信頼と協力を得るために情報発信の推進を継続します。	(1) コロナ感染症の関係で文書等での対応であったものが5類へ移行したことで対面での情報発信ができるようになった。	(1) 今後はSNS等も活用して発信していく。
(2) 人材の定着に向けた取り組みの強化を図ります。	(2) 多様な人材を確保するため、日々お互いを認め合いながら就労できる職場作りを心がけた。R5年度は離職者もなく、個々の努力で資格保有者も増え、ケアの向上につなげることができた。	(2) 適正な業務評価を行い目標が明確になるように、外部の研修等多く参加できる体制をつくっていく。
(方針2) 個人の尊厳を守ります		
個々の利用者にとってその人らしい生活の場にふさわしい「共に生きる」を目指します		
(1) 利用者、家族へのこまめな配慮、気配りを心がけるとともにケアマネとの情報交換を密にし、個別ケアの充実を図ります。	(1) 連絡帳や送迎時、又は電話により家族やケアマネと細目に連絡を取ったことで、利用の回数も増え、新規利用者も増加した。	(1) 利用者が減ることのないように今後も継続していく。
(2) 安全面、衛生面など常に心がけて注視していきます。	(2) 送迎時、事故のないよう安全運転に努め、乗車時は手指消毒を行い、送迎後は車内の消毒を行うことを徹底した。	(2) 今後も安全運転と消毒を継続していく。
(方針3) 地域社会とのつながりを大事にします		
近隣の施設や病院、地域住民、民生委員との相互連携を図り、緊急時の応援協力体制の確保に努めます		
(1) 運営推進会議や近隣の方々が自由に入出りできる環境をつくります。	(1) 対面での運営推進会議を年2回開催した。事業所への自由な出入りについては、感染症の不安がまだ大きいため、控えている。	(1) 感染症対策に留意しながら、自由に入出りできるように少しずつ催しなどを行っていく。
(2) 防災訓練など地域の自治会の連携に努めます。	(2) 防災訓練は年2回実施、自治会長にはお声かけし、参加していただいている。	(2) 自治会の防災対策等に自施設の緊急時の支援をしてもらえるよう依頼する。



(方針4) 良質な福祉人材を育成します								
自身の役割、アプローチの仕方など、スタッフの動きやすい職場、お互い信頼できる関係づくりに努めます								
(1) 事故発生防止の為、月1回の職員会議において定期的に研修を行います。	(1) ヒヤリハットや苦情、事故等発生した時は、職員会議で検討、対策を考えて、職員全員に周知した。	(1) 利用者への目配り、気配りを重視し、事故等発生のないように努める。						
(2) スタッフの役割分担の見直しを行うとともに行動計画を作成し、周知を図ります。	(2) 一日の流れがスムーズにいくように、スタッフ同士の声掛けを重視した。	(2) 個々の専門性を生かしながらスタッフ同士のつながりを強化しつつ、随時行動計画の見直しを行っていく。						
2 主な事業実績・概要								
(1) サービス利用状況								
		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
事業名	定員	延利用	稼働率	延利用	稼働率	延利用	稼働率	前年度比
通所介護	15名	3,283名	70.1%	3,127名	66.6%	3,559名	76.0%	113.8%
(2) 事故、ヒヤリハット	ア 事故 4 件 イ ヒヤリハット 3 件 ウ 行政報告 0 件							
(3) 苦情・相談	0 件							
(4) 行事等	8月 縁日体験 (3日間) 9月 敬老会 10月 運動会 (5日間) ドライブ外出 (コスモス畑) 12月 ドライブ外出 (大野岳) クリスマス会 ドライブ外出 (3日間 開聞神社、池田湖) 3月 ドライブ外出 (知覧平和公園)							
(5) ボランティア受入	1件4名 (枕崎リコーダーアンサンブルドルメッジ)							

(6) 実習受入	1件1名 (鹿児島国際大学)								
(7) 研修 ア 職場内研修          イ 職場外研修	5月 感染症対策委員会 8月 ヒヤリハットから離設予防について今後の対応 9月 ともいき会議報告 10月 南九州市多職種連携合同研修報告 12月 感染症対策委員会 1月 フレイル予防について 2月 虐待防止対策委員会  9月 令和5年度穎娃地域多職種連携合同研修会 令和5年度第1回通所部会セミナー 1月 令和5年度南薩圏域地域リハビリテーション広域支援センター第2回講演会 介護事業所のための業務継続計画 (BCP) 作成セミナー 3月 令和5年度南九州市多職種連携合同研修会								
(8) 防災対策 ア 防災訓練       イ 消防設備点検	6月 火災想定避難訓練、通報装置取扱説明、消火器取扱訓練 11月 火災想定避難訓練、通報装置取扱説明、消火器取扱訓練、講話 2月 地震想定訓練  年1回実施 (4月)								
(9) 設備管理	購入・工事 (10万円以上) <table border="1" data-bbox="824 1217 2007 1313"> <thead> <tr> <th data-bbox="824 1217 1532 1265">名 称</th> <th data-bbox="1532 1217 1711 1265">数 量</th> <th data-bbox="1711 1217 2007 1265">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="824 1265 1532 1313">小型電気温水器交換</td> <td data-bbox="1532 1265 1711 1313">1</td> <td data-bbox="1711 1265 2007 1313">125,950円</td> </tr> </tbody> </table>			名 称	数 量	金 額	小型電気温水器交換	1	125,950円
名 称	数 量	金 額							
小型電気温水器交換	1	125,950円							
(10) 地域との関わり	なし								

VII 岡村さん家居宅介護事業所		
1 重点項目における評価と課題		
事業計画	評価	課題・今後の取組
(方針1) 健全な財政基盤をつくります		
居宅介護支援事業所の経営が安定するようにしていきます		
(1) 地域包括支援センターや医療機関との連携、情報交換を継続して良好な関係を維持し、新規利用者確保に努めています。	(1) 地域包括支援センターや医療機関、利用者家族・地域住民からの新規利用の相談・依頼があり、新規利用者に繋がった。	(1) 経営の安定化、新規利用者確保のために関係機関や利用者・家族、地域住民との良好な関係維持が必要である。
(2) 定期的に業務内容や消耗品、その他購入物品、諸経費の確認及び見直しを行い、経費削減に努めています。	(2) 業務内容見直し・省力化のため利用者、家族へのアンケートをR4年度で終了とし、コピー用紙裏紙活用等経費削減に努めた。	(2) 業務内容、諸経費の確認・見直しを行い、経費削減に努めていくことが必要である。
(方針2) 個人の尊厳を守ります		
利用者、家族の安全や人権が守られるようにしていきます		
(1) 高齢者虐待防止や感染症防止のためにデイサービス岡村さん家と共同で委員会、研修会、訓練（シミュレーション）等を行っていきます。	(1) 高齢者虐待防止についてはR6年2月に、感染症防止についてはR5年5・12月に、デイサービス岡村さん家と共同で委員会・研修会を開催した。	(1) 利用者・家族の安全確保・権利擁護のために、委員会・研修会等による高齢者虐待防止・感染症防止に関する知識の習得、業務内容の再認識が必要である。
(2) 感染症や災害が発生した場合でも利用者に必要なサービスが提供できるよう業務継続計画等を策定し、訓練（シミュレーション）等を行っていきます。	(2) 自然災害、新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画を策定し、R6年3月に事業所内で机上訓練を行った。	(2) 非常時でも必要なサービスが提供できるよう各種研修参加、机上訓練等の継続、各業務継続計画の内容確認、状況に応じた修正が必要である。
(方針3) 地域社会とのつながりを大事にします		
地域住民、行政、関係機関との関わりを大事にしていきます		
(1) 地域住民等からの介護保険や介護に関する相談、問合せ等に親切、丁寧に対応していきます。	(1) 岡村自治会・他地域住民からの介護保険申請やサービス利用等に関する相談があり、親切・丁寧・迅速を心掛けて対応し、申請手続き代行、サービス利用調整等を行った。	(1) 地域社会とのつながりを意識しながら地域住民等への親切・丁寧・迅速な対応に努めていくことが必要である。

(2) 利用者、家族の支援や日常業務について地域包括支援センター、市町村関係部署、医療機関、各サービス事業所、居宅介護支援事業所等とこまめな情報交換、連携を行っていきます。また、関係機関からの各種会議、研修参加等の依頼には積極的に参加する等協力していきます。

(2) 南九州市役所介護保険担当部署や地域包括支援センター、医療機関・サービス事業所等と利用者支援に関する情報交換を行い、南九州市や介護支援専門員協議会南薩支部等の研修会に参加した。

(2) 地域包括ケアを念頭に地域包括支援センター・市関係部署や医療機関・サービス事業所との連携、協力を継続していくことが必要である。

(方針4) 良質な福祉人材を育成します

職員の資質向上に努めていきます

(1) 南九州市や介護支援専門員協議会、その他関係団体主催の研修会に参加して介護保険行政の動向についての情報収集や研鑽に努めていきます。

(2) 年1回の利用者、家族へのアンケート形式でのサービス満足度調査による事業所の評価を継続して、調査結果を業務に反映していきます。

(1) 南九州市や介護支援専門員協議会南薩支部等の研修会、オンラインセミナーに参加し、情報収集等を行った。

(2) 前述の通り利用者、家族へのアンケートは令和4年度分で終了とし、その旨を自宅訪問時に文書で利用者、家族へ説明した。代替策として南九州市介護保険係推奨の居宅介護支援自己点検シート・自己点検表による自己点検を行った。

(1) 資質向上のために行政・関係団体主催の研修会、セミナー等への参加を継続し、情報収集や研鑽に努めていくことが必要である。

(2) アンケートは終了としたが、利用者、家族の満足度を意識しつつ日常業務を行っていくことが必要である。前述の様式に基づく自己点検も継続していくことが必要である。

2 主な事業実績・概要

(1) サービス利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	延利用	延利用	延利用	稼働率	前年度比
介護	468名	541名	650名	77.4%	120.1%
予防	53名	33名	35名		106.1%

\*令和5年度の稼働率は、標準担当件数 35件/1人 に対する割合

(2) 事故、ヒヤリハット	<p>ア 事故 0 件</p> <p>イ ヒヤリハット 1 件</p> <p>ウ 行政報告 0 件</p>
(3) 苦情・相談	0 件
(4) 実習受入	0 件
(5) 研修	<p>ア 職場内研修</p> <p>5 月 感染症委員会・研修会（デイサービス岡村さん家と合同）</p> <p>12 月 感染症委員会・研修会（デイサービス岡村さん家と合同）</p> <p>2 月 虐待防止委員会・研修会（デイサービス岡村さん家と合同）</p> <p>3 月 各BCP（自然災害、新型コロナウイルス）机上訓練</p> <p>イ 職場外研修</p> <p>4 月 R4年度保険者機能強化支援事業全体研修会（地域ケア個別会議助言者向け動画視聴） 報酬改定についての動画視聴 虐待を起ささないための現場マネジメントと経営層の役割（動画視聴） 2024年トリプル改定対応（動画視聴）</p> <p>5 月 介護予防のための地域ケア個別会議報告会（オンライン） 虐待が起こった時の対応の実際（オンライン）</p> <p>6 月 介護支援専門員協議会南薩支部役員会 虐待発生のリスクマネジメント（オンライン） 介護保険運営指導のポイント解説（動画視聴）</p> <p>7 月 穎娃民生委員児童委員定例会、穎娃地区居宅部会話し合い（穎娃老人福祉センター） 南九州市居宅介護支援事業所 集団指導（オンライン） 県介護支援専門員協議会南薩支部研修（オンライン） （南さつま市ケアプラン点検見学：南薩支部活動）</p>

	<p>県介護支援専門員協議会第1回研修会(オンライン)</p> <p>望洋の里居宅との事例検討会(望洋の里居宅にて)</p> <p>8月 南九州市在宅医療介護連携普及啓発講演会(川辺文化会館)</p> <p>南九州市介護サービス事業所連絡会居宅介護支援専門部会・研修会(オンライン)</p> <p>9月 ケアマネ協議会南薩支部主任ケアマネスキルアップ研修《事例報告者》(オンライン)</p> <p>(南九州市ケアプラン点検へ点検者参加《ケアマネ協議会南薩支部活動》)</p> <p>穎娃地域多職種連携合同研修(穎娃文化会館)</p> <p>10月 ゲートキーパー養成研修会(川辺文化会館会議室)</p> <p>望洋の里居宅との事例検討会(望洋の里居宅にて)</p> <p>11月 主任介護支援専門員更新研修(鹿児島市)</p> <p>12月 主任介護支援専門員更新研修(鹿児島市)</p> <p>居宅介護支援事業所の為のBCP作成セミナー(動画視聴)</p> <p>1月 南薩保健医療圏域入退院調整ルール定着支援事業R5年度医療・介護合同会議(川辺文化会館)</p> <p>介護支援専門員協議会南薩支部主任ケアマネスキルアップ研修「BCP進捗状況」</p> <p>2月 (南さつま市ケアプラン点検へ点検者参加《ケアマネ協議会南薩支部活動》)</p> <p>3月 (介護支援専門員協議会南薩支部役員会《ケアマネ協議会南薩支部活動》)</p> <p>令和6年度介護報酬改定説明会(サン・フレッシュ枕崎)</p> <p>南九州市介護サービス事業所連絡会居宅介護支援専門部会・研修会(オンライン)</p> <p>南九州市多職種連携合同研修(オンライン)</p>
(6) 地域との関わり	10月 そよかぜ事業ポスター掲示協力